

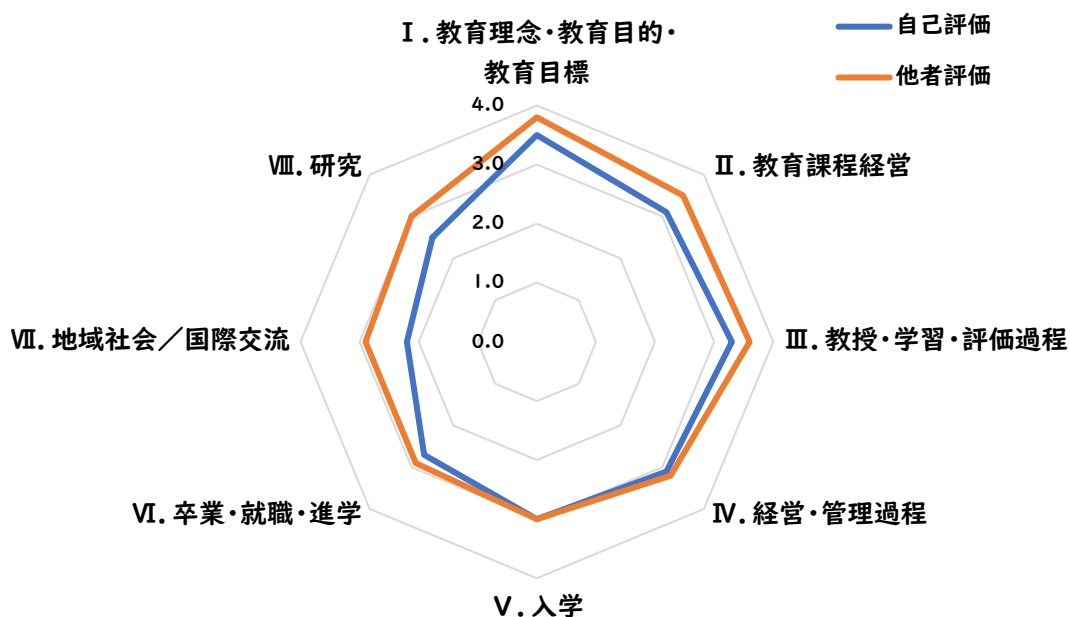
令和7年度 学校相互評価

日 時：令和7年11月21日（金）

評価委員：中国四国地区の国立病院機構附属看護学校の教育主事4名

令和7年度学校相互評価結果

評価内容	自己評価	他者評価
I. 教育理念・教育目的・教育目標	3.5	3.8
II. 教育課程経営	3.1	3.5
III. 教授・学習・評価過程	3.3	3.6
IV. 経営・管理過程	3.1	3.2
V. 入学	3.0	3.0
VI. 卒業・就職・進学	2.7	2.9
VII. 地域社会／国際交流	2.2	2.9
VIII. 研究	2.5	3.0



【総評】

全領域（127項目）の評価は、「4：当てはまる」50項目（39.4%）、「3：ほぼ当てはまる」71項目（55.9%）、「2：やや当てはまる」5項目（3.9%）、「1：当てはまらない」1項目（0.8%）であった。

ハンセン病療養所附属の養成所としての考えを教育理念に掲げ、相違なく教育目的・教育目標が示され実践されている。学生数が少ない中で、学生一人ひとりの状況を把握し、教職員間で情報共有しながら細やかな指導・支援がされている。

学生募集については近年の准看護師養成所の閉校・閉科を情報収集し、学生確保について検討され募集活動を行っている。しかし学生確保については更なる分析、及び、入学者選抜の方法等の検討が必要だと考える。